芦高新聞

発行所
県立芦屋高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川町55

万年筆専門店
製作と修理と販売
芦屋本通り
堀万昭堂
電話六四四三

波乱なく成立

総額一百三十五万円

三十二年度自治会予算

本年度自治会各部予算案は、三月十八日代議員会に提出され、同日通過した後、三月二十日の生徒大会において、慎重審議の結果、三十二年度自治会予算は成立した。

原案を、四月十三日、文化部・運動部・渉外部の各予算審議委員会に提出され、各部の代表者のもとに審議されたが、たいした波乱もなく各グループとの調整が進められ、四月十八日代議員会において、原案通り通過し、四月十九日の最終的決定された。

原案を、四月十三日、文化部・運動部・渉外部の各予算審議委員会に提出され、各部の代表者のもとに審議されたが、たいした波乱もなく各グループとの調整が進められ、四月十八日代議員会において、原案通り通過し、四月十九日の最終的決定された。

原案を、四月十三日、文化部・運動部・渉外部の各予算審議委員会に提出され、各部の代表者のもとに審議されたが、たいした波乱もなく各グループとの調整が進められ、四月十八日代議員会において、原案通り通過した後、四月十九日の最終的決定された。

本年度自治会予算は、昨年度の黒字分、九百六十二円は今年度に繰り越された。

概要は収入の部、前期繰越金一万六千九百八十二円の赤字、賛助員会費六千三百四円の赤字、文化部予算一万六千五百円の黒字、運動部予算一万三千五百円の黒字。

収入の部、賛助員会費六百七十五円の黒字である。また本年度予算は、賛助員会六百七十五円の増加、賛助外員会費四千円の減少。文化部八千円の増加。運動部変化なしである。

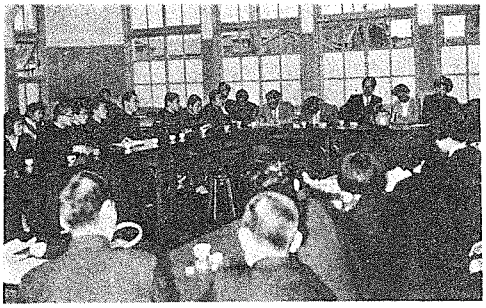
賛助外員の四千円減少のため図書部が五千円の増額したが他の部もなにかの変更はなかった

芦高生を批判する

―その三―

出版部では〃芦高生を批判する〃の第三回目として先生と生徒との合同座談会を、五月六日（月）生物第一教室において開いた。出席者は、各クラス一名ずつを予定していたが、所々主旨を外れる個所を見られるのもやむを得ない状態であった。なお出席の先生方は、石田（寅）井上（次）魚崎、川村、小松、佐藤、谷川、多田、千葉、津本、石川、柔谷、山田（大）の諸先生方であった。

教師と生徒による合同座談会



この芦高生批判は昨年十二月二十二日、四日発行の第六十七号芦高新聞に初めて（その一）を掲載のみる芦高生々今年の二月二十六日の第六十八号に（その二）父兄職場の見る芦高生々を連載して、今度第四日の座談会によってその総まとめをしたいと思います。四月に入学された二年の方は知らないと思うが、それは、いろいろな点をつかみまた入試地獄といわれる現在であってクラブ活動と勉学との両立に悩むものも多い。このような状態に、さて芦高生自身の目に批判が必要であると思ったからです。

入学時の第一印象

司会　只今から出版部主催の教師と生徒の合同座談会による芦高生批判々を開催致したい思います。芦高新聞に〃芦高生批判〃を載せるようになりましたのは、おとしの十五周年記念式典を記念として親子の芦高生が云々されるように成り芦高生は先輩の築き上げた伝統の上に歩くのをかいて〃と強く指摘されたり、また先生方からも〃以前の芦高生にもっと親密があったが、現在の芦高生は・・・〃とか、進学率から見ても近頃の芦高の様子下りつつあるということをよく聞かされますが、それはいろいろな点をつかみまして、話合いたい思いました。

さて二年生のみなさん、芦高に入学された当時の第一印象はどんなものでしたか。

生徒　校舎がたんんとなく暗い感じがしました。

生徒　入学試験を受けに来た時、きたない所だと思いました。

司会　芦高のクラブ活動についてどうですか。

生徒　自由でよいクラブ活動だと思います。

生徒　クラブ活動は活発であるが先生との接触がうすい。また上級生による強クラブ活動をおそかにしている。

生徒　私は文化部に属していますが部の例会の回数が少ないのではないですか。

生徒　クラブ活動の練習方法に改善が必要だと思います。

生徒　練習方法はキャプテンの主観によって左右されていますが、もっと計画的にやってほしいと思います。

生徒　部の規律を保つためにもやはり主将なり、三年生なりに権力があるが、もっと練習方法を工夫して行くと、確かにおちついてきた。その原因として、芦の生徒は自分の殻をなく働かせ、自分の考えをのばすようにおもいます。

先生　もっと少し突込んでいくと、自分は何のために勉強するのか、なんのために運動するのかの問題となって行く。

司会　運動部の練習時間などはどうでしょう。制限など必要でしょうか。

生徒　部によって左右される。全部的にやればうまくいけますね。

生徒　制限しなくてもきまってるのではないですか。

先生　練習時間がきまっても実行ができないと思う。義務感ある練習方法にも全部徒がでてくるのではないですか。

生徒　掃除など遅くなると練習に始める帰る時間が、おそくなったりするのはよくないですね。

先生　いつからでも二時間やまやさいものではないことを考えに入れて欲しい。それから強れてくる者あって練習時間が短縮されるのの方はよくない。

司会　先生方、これについてどうですか。

先生　運動の先輩のクラブ活動において後輩の導き方に一考を要しますね。

先生　中学には中学の練習方法があり、高校には高校の方式があります。高校には高校の方式なる強制極を待つべきでしょう。

先生　勉強部で各クラブに対して方針に対する検討会を持たことが必要ですね。

クラブ活動と勉強との両立は

司会　クラブ活動と勉強の両立の問題についてどうですか。

生徒　私はクラブ活動と勉強は同立すると思います。クラブ活動に重点おいても良いのではないですか。

生徒　はじめはうらいですが、疲労さえあればやれるとおもいます。勉強はついていけますね。

生徒　今の疲見に強成です。

先生　中学時代においての例ですが、運動部に入っていた時の方が勉強がよくできたことがありますね。

生徒　運動ができれば勉強ができるのではないですか。

生徒　休力の問題ですね。体力が必要だとおもいます。

司会　特に大学入試という点について先生方どうですか。

先生　良い試験は入試問題がやさしかったんだが、一年々々つかしくなって行くのだから、やすむをえない。

生徒　昔とくらべて進学率が落ちたのではないですか。

先生　質が昔にくらべておちているのではない。しかし嶋がせるのに来たのだれ。要するに振幅の問題ですね。

先生　入試問題がむかつしくなったのは確かであるが、外の学校との対比で行くと、確かにおちたね。

先生　その原因として、昔の生徒は自分の殻をなく働かせ、自分の考えをのばすようにおもいます。現在のものは自分をなく考えない。クラブ活動等云々する傾向が多くなった。すなわち自分を強制しなくなって、同じくらべっぽうに進んでいる。

生徒　自己反省をうながされましたが、運動が勉学と両立しないという人は、目標がないからです。いろいろ人は、目標をもてばできるのではないでしょうか。

先生　自分の限界を知れということですね。

先生　もっと少し突込んでいくと、自分は何のために勉強するのか、なんのために運動するのかの問題となって行く。

司会　運動部の練習時間などはどうでしょう。制限など必要でしょうか。

生徒　部によって左右される。全部的にやればうまくいけますね。

生徒　高校生活は親密がもっと密でないと思っていたのですが、かんじるが、その点高校は目的でもある。

生徒　自由においての規律がなくジグザグ的である。自由は強制でなければならない。自由は主体性と共存存在である。自由は主体性をかためなければならない。だから制限に対して自己するわち主体性をかためていかねばならない。例えばクラブ活動に移りかが、大きな制限であると思います。どうもあのがとうこさ思いました。

司会　ずい分おそくなりましたが、おそくて十分話し合えたとも、小から話し足りない思っています。今後はこれらの問題を研何に致したいと思います。どうもありがとうございました。

生徒　自由でよいクラブ活動だと思います。

生徒　クラブ活動は活発であるが先生との接触がうすい。また上級生による強クラブ活動をおそかにしている。

生徒　私は文化部に属していますが部の例会の回数が少ないのではないですか。

生徒　クラブ活動の練習方法に改善が必要だと思います。

生徒　練習方法はキャプテンの主観によって左右されていますが、もっと計画的にやってほしいと思います。

生徒　部の規律を保つためにもやはり主将なり、三年生なりに権力があるが、もっと練習方法を工夫して行くと、確かにおちついてきた。その原因として、昔の生徒は自分の殻をなく働かせ、自分の考えをのばすようにおもいます。現在のものは自分をなく考えない。クラブ活動等云々する傾向が多くなった。すなわち自分を強制しなくなって、同じくらべっぽうに進んでいる。

生徒　自己反省をうながされましたが、運動が勉学と両立しないという人は、目標がないからです。いろいろ人は、目標をもてばできるのではないでしょうか。

先生　自分の限界を知れということですね。

先生　もっと少し突込んでいくと、自分は何のために勉強するのか、なんのために運動するのかの問題となって行く。

司会　運動部の練習時間などはどうでしょう。制限など必要でしょうか。

生徒　部によって左右される。全部的にやればうまくいけますね。

生徒　制限しなくてもきまってるのではないですか。

先生　練習時間がきまっても実行ができないと思う。義務感ある練習方法にも全部徒がでてくるのではないですか。

生徒　掃除など遅くなると練習に始める帰る時間が、おそくなったりするのはよくないですね。

先生　制限しなくてもきまってるのではないですか。

先生　練習時間がきまっても実行ができないと思う。義務感ある練習方法にも全部徒がでてくるのではないですか。

生徒　掃除など遅くなると練習に始める帰る時間が、おそくなったりするのはよくないですね。

先生　会報にいうならば、あまりにも親密にゆがまれすぎている。だから親密過度である。

授業態度は？

司会　授業態度に表われる芦高生のはどんなものでしょう。

先生　近ごろの生徒は授業中ぼうが多い。その反抗的の芦高生は非常に活発だ。例えば、質問、質問で授業ができなかったりあります。

先生　先生もこまるような問題をもちかけられたことがある。

先生　今年から一年生特に試験がきびしくなっているが、これは試験によって指導するものがあるので試験は必要ですね。

先生　昔の学生は自分でやりましたね。最近は依頼心が強くなってきていると。だから試験でおどろかして勉強させていられるのではないか。

生徒　今の疲見ならよいが、ある先生は試験が強制であるというのが多いのですが（笑声）

生徒　小さい試験を好みます。大きな範囲より小さい範囲が何回もした方が覚えやすいです。小さいテストは大いに良いです。

先生　それなら試験を至て時良い薬箱に頼すのは疲労がないのではありませんか。

先生　試験は目的によっていろいろな仕方があるのでいたしかたない。また先生方の方針もあることですし、ここでは云々できない問題ですね。

先生　小試験強迫は情けないと（笑声）高等学校ではかなり自分でやっていいということ、試験前になると目前のものにのみ力を入れるというのは勉強というものの考えがまちがっているのではないかと思う。目的・希望をはっきりもって勉強していかなければ・・もっと目標を感じたもって。

先生　勉強はある程度苦痛なものであるのましょうが、考え方では楽しみもあるのです。なんのために勉強するのかを考える時、勉強は目的でなく手段であると言えるのですね。この学校の生徒は、勉強と勉強以外のものとのけじめがないですね。

先生　私は高校時代勉強は苦痛でなければならないのに、個人の勉強のペースがみだされるのではないか。それを協調するというのは、強者に先生に頼っているといえる。自分の時間を一日どのくらいもっているか疑問。

先生　試験をやめるといってる感じ強制の時。

先生　試験は良いとおもう。

先生　試験をやるとなるとあるから、生徒の勉強をしやすくするためですね。

先生　試験は良いとおもう。

先生　クラブ活動をしているものには、試験によって指導するものがあるので試験は必要ですね。

先生　クラブ活動をしていると、小さな山を越えさせる、小テストを度々行い、生徒の勉強をしやすくするためですね。

先生　試験は良いとおもう。

先生　試験をやめるといってる感じ強制の時。

先生　クラブ活動が強くなるから、勉強が落ちるとかいうことはないのではないかと思います。両立しうる。大学率が落ちる、試験が落ちるとか、大学率が上がるという関係はないのではないかと思います。両立しうる。

先生　クラブ活動が強くなるから、勉強が落ちる、試験が落ちるとか、大学率が上がるという関係はないのではないかと思います。両立しうる。

先生　クラブ活動が強くなるから、勉強が落ちる、試験が落ちるとか、大学率が上がるという関係はないのではないかと思います。両立しうる。

先生　先生をやってやるこういう気の強者がどしどしとしてほしいですね。なかなかかかるものですが。

先生　たしかにそうですね。

先生　五年前には授業に行くとっこんな質問をしたりして、疲労を抱く生徒が学生の四・五名はいた。最近は殆どいないね。

先生　自分の子供においても西校ならいたにはは親密度がうすいというこについてどうでしょうか。

先生　自分の子供においても西校ならいたにはは親密度がうすいということ以外に問題があるようで。そこで問題しあうことが必要ですね。高校時代には親密なる傾向があり、親しい、不安、不信を持っているのですが、今の芦高は自先のものにとられてエネルギッシュなカを欠いているのではないかと。

司会　先生と生徒の間の親しみ、親しい、不安、不信を持っているのですが、今の芦高は自先のものにとられてエネルギッシュなカを欠いているのではないかと。

先生　勉強が足りないいですね。この学校の生徒は、勉強と勉強以外のものとのけじめがないですね。

先生　私は高校時代勉強は苦痛でなければならないのに、個人の勉強のペースがみだされるのではないか。それを協調するというのは、強者に先生に頼っているといえる。自分の時間を一日どのくらいもっているか疑問。

先生　試験をやめるといってる感じ強制の時。

先生　試験は良いとおもう。

先生　クラブ活動をしているものには、試験によって指導するものがあるので試験は必要ですね。

先生　クラブ活動をしていると、小さな山を越えさせる、小テストを度々行い、生徒の勉強をしやすくするためですね。

先生　試験は良いとおもう。

先生　試験をやめるといってる感じ強制の時。

先生　クラブ活動が強くなるから、勉強が落ちる、試験が落ちるとか、大学率が上がるという関係はないのではないかと思います。両立しうる。

先生　クラブ活動が強くなるから、勉強が落ちる、試験が落ちるとか、大学率が上がるという関係はないのではないかと思います。両立しうる。

先生　先生をやってやるこういう気の強者がどしどしとしてほしいですね。なかなかかかるものですが。

先生　たしかにそうですね。

先生　五年前には授業に行くとっこんな質問をしたりして、疲労を抱く生徒が学生の四・五名はいた。最近は殆どいないね。

先生　自分の子供においても西校ならいたにはは親密度がうすいというこ

図書館拡張計画を予定

＝図書部への投書とその後＝

前号本紙上で図書館を会議室として使用することに対する不満の声が寄せられたが、最近では図書館を拡張してはいとの声もとっている。また前号の記事は図書館とその図別がついてないから正にしてほしい旨の申し入れがあったので、図書部と学校間の図書課との見解を聞いてみた。

図書部への理解を望む

図書部としては一人でも多くの諸君にわれわれを理解してほしいと思う。まず問題になるのは学校として図書館と図書部との関係である。われわれは図書館あっての図書部員であり、本来の関係のごとく、各々を切り離して考えることは全く無意味である。図書部としては、図書の出納事務、館内の整頓整となどを担当しているが、図書部も図書館も独自の立場で単独に活動するのではなくて「図書館利用率の向上」という一致した目標をもって、各々の仕事から派生する立場が異なし、図書館自体に関しては双方が一致協力して活動している。しかしそれはあくまでも図書館利用率向上の過程であって、われわれは自分たちの大なる努力に相応する結果のあらわれるのを待ちたい。また投書に関しても、われわれは図書部の不満の点については大いに反省し、話し合わねばならぬ点は大いに話し合いたい。そして学校と図書部との間柄がよりよくなるよう努力したい。

図書部員

会議室兼用を避けたい

図書館の会議室使用の件については、賛成の意見が多いが、一部の人からは、図書館の静かな雰囲気を乱すとの意見が出ている。

学校には大きな会議室がないので、なるべく図書館を会議室として使用することを避けるよう努めてはいるが、やむを得ない場合だけ（例えば、評議委員会や外部関係者の会合など）は上記の目的館から、生徒のあまりはいっていない時を選んで会議に利用している。職員会議には、原則として教育課程に関する会議などが出されて、八日付で決定されている。会議は十三名で、小島各中心としてその他の動物の飼育研究をその活動内容としている。

側学校

動物飼育研究会生る

四月二十七日、一年才組の高田鶏彦君から文化部長に動物飼育研究同好会設立許可願いが出され、八日付で決定されている。会員数は十三名で、小島各中心としてその他の動物の飼育研究をその活動内容としている。

書道部第三位に

第三回県下高校書道展は去る二月十五日～十七日の三日間県庁朝日会館において、出品校三十一、総出品点数五六四点のもとに行われ本校書道部は第三位に入賞した。第一位は西高、第二位は三島高である。本校の主な個人賞は次の通り。

選賞　町和人
特選　宮本雪、堀本邦雄
岡田孝一、工藤実

戦績

スポーツ

◇硬式野球部

潮江戦会
○西高7－1城（4・28）
○西高1－2米子東（於鳥取28）
○西高0－1田辺（4・29）於和歌山

◇硬式庭球部

第三回県下高校春季大会（4・3－4・7於明石）
シングルス（4・5）
二回戦
木村6－4神谷（大社）
川村6－0幸田（足図）
西川6－1高尾（瀬）
池田6－4秋勝吉松（図学）
高木7－3宮尾（瀬）
梅谷7－5本城（甲陽）
千賀0－6米谷（甲南）
猪谷3－6寺井（足図）
中林2－6三戸（鳴尾）
尾尾1－6堀上（図学）
正木7－5吉田（足図）
三回戦
木村2－0水山（図学）
川村2－1広田（図学）
西川0－2斉川（図学）
池田0－2長谷川（瀬）
梅谷0－2岡本（図学）
猪田0－2渡辺（甲南）
正木0－2田口（足図）
四回戦
木村1－2鶴園（甲南）
川村1－2平野（甲南）
池田（不戦）1－2（谷井・藤島（報徳）
正木0－2田口（足図）
五回戦
木村1－2今井（甲南）
◇柔道部
（種智試合・二年のみ）
西高4－1中南（於西宮）
点取　西高4－1中南（於西宮）
○田中（仏図）金原
○殿山（鳴尾）脇原
越田（引分け）牧野
○杉本（甲南）谷井
長尾（合せ技）松田
○西岡（つり込み）佐藤
○上田（引分け）小都
○八木（甲南）
○小保倉（鳴尾）
○池尻（甲南）
○中田（大外り）大井
○北川（引分け）細川
○細見（鳴尾）小原
○橋本（引分け）矢吹
○清水（体落）野尻
○牧野（引分け）永井
◇バレー部
阪神地区Aクラスリーグ戦（6・4）
西高2121－1417市西
西高2121－310関学
西高2121－7鳴尾
西高2121－133尼西
西高（1621－2117）尼工
関（引分け）小都
○八木○
○小保倉（鳴尾）
○池尻（甲南）
○中田（大外り）大井
○北川（引分け）細川
○細見（鳴尾）小原
○橋本（引分け）矢吹
○清水（体落）野尻
○牧野（引分け）永井
○田中（大外り）大井
○北川（引分け）細川
○細見（鳴尾）小原
○橋本（引分け）矢吹
○清水（体落）野尻
○牧野（引分け）永井
○長尾（合せ技）松田
○西岡（つり込み）佐藤
○上田（引分け）小都
○八木（甲南）
○小保倉（鳴尾）
○池尻（甲南）
○中田（大外り）大井
○北川（引分け）細川
○細見（鳴尾）小原
○橋本（引分け）矢吹
○清水（体落）野尻
○牧野（引分け）永井
○長尾（合せ技）松田
○西岡（つり込み）佐藤
（二面より）つづく）
井田（引分け）（二部）一瀬　田中吾二
○広島大　年森（文）一本
○長崎大　古敷鑑（医）
○金沢医大　福井学子（西宮）一
現
◇九州大　内藤誠一本
◇静岡大　田原義夫（工）一本
◇名古屋工大　松本勝史一本
◇岡山大学（現一名、本十五名）
私立入学
▲広島大　年森（文）一本
▲長崎大　古敷鑑（医）
▲金沢医大　福井学子（西宮）一
▲九州大　内藤誠一本
▲静岡大　田原義夫（工）一本
▲名古屋工大　松本勝史一本
▲岡山大（現一名、本十五名）
▲長崎大　古敷鑑（医）一本
▲金沢医大　福井学子（西宮）一
▲広島大　年森（文）一本
▲長崎大　古敷鑑（医）
▲金沢医大　福井学子（西宮）一
▲九州大　内藤誠一本
▲静岡大　田原義夫（工）一本
▲名古屋工大　松本勝史一本
▲岡山大（現一名、本十五名）
▲長崎大　古敷鑑（医）一本

「雨・雨・雨…の修学旅行」

端午の頃、そして若葉の頃を迎ようとする、一年中で最も新鮮な美しさをもった春節に三年生芦高教生活における最大の思い出ともいうべき修学旅行に旅立った。

四月二十日午後七時、春雨の中を発す九州線が、翌朝六時、こも濡れの雨で頭得れの感があった。まず九州線は長崎から雲仙へ、次いで別府へ出て船で神戸港といったコースであった。関東線は富士五湖めぐり名所へ、次いで別府へ出て船で神戸港といったコースであった。この間、九州班一部を生徒がある機関車乗務員に鶴切り待ちをしたことを、お伝えしておこう。

九州の旅

なにしろ雨にたたられた旅行だった。長崎も雨、雲仙も雨、せめて別府だけは…。二十三日の夜食後の高鼾の高鼾のみが安全を見せ、雨が時、もし雨が晴れたら四時半起床で同窓会山とき、床に入っても可愛い姿が会窓できる。雨上・火山は雲行機に乗り、泡の島が浮んでいるように、白い雲の中に外輪山の高鼾のみが安全を見せ、雨